

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 法人全体 】

2022(令和4)年度社会福祉法人さざんか会事業報告

1.重点項目について

① 「新型コロナウイルス」感染の防止について

3年目を迎えたコロナ感染禍も、年度終了時には新規感染者数も減少に向かい、落ち着いて来たような景色が見えているよう。とは言え、高齢者施設等においてはクラスターの発生も見られるのであり、油断は禁物の状態に変わりはない。

決して気を許すことなく従来通り感染の防止には万全を期し、利用者や職員各位の健康を守り抜き、日々の活動に邁進するばかりである。

② 「法人が抱える諸課題について対応への具体策」について

利用者ご家族の高齢化、それに伴う家族介護の困難さが浮き彫りになっているのは自明の理。それどころか、ご家族の逝去に伴い暮らしの場の確保が困難になる人たちが見られるようになってきている。

船橋圏内通所施設のご家族に対し、利用者各位の将来の暮らしの場についてのお考えをアンケート形式でお尋ねした。それは、法人に対して将来グループホームなりの開設を望む声が多く聞かれることとなる。併せて、管理者各位にも自施設利用者各位の生活困窮度について調査した。すると「現在或いは近い将来家庭生活の維持が困難又はその恐れのある人」が15名という数字が出てきた。これらの事実を鑑みながら解決の具体策を今後練ることとなる。

児童については、改正児童福祉法に盛り込まれた児童発達支援センターの新たな役割、機能等を吟味しながらそのあり方を見直して行くこととなりそう。

「魔法のランプ」については、残念ながら明確に再開の方図を描くことができなかった。怪我の功名、コロナ感染禍に帰宅のできない職員の待機場所として機能することはあったが。その他、事業所の職員やご家族との会議の場として活用されることもある。

③ 「職員の確保と将来展望を見据えて」について

新年度を迎えるに当たり、新卒学生を8名迎えることができた。近年、この数はめったにないことであり心から喜び、歓迎の次第である。とは言え、相変わらず年中職員募集中であることに変わりはない。

採用について、多額の出費とそれに見合う結果が伴えば良いのだが…。

次年度は休暇日数を増やしたりで、より働き易い職場づくりを目指す。

社会自体に若い労働者が減少して行くのであり、とにかく離職を避けるとともに、必ずカムバックできる職場であるように。

以前と異なり、社会福祉なかんづく障害者福祉に未経験の人たちの就労も見受けられるようになってきている。自前で研修を心掛けもするが、併用して福祉協会の通信教育、特に知的障害福祉に未経験な人たちを対象とした講座が開かれており、これを公費で受講していただくこととした。この業界に新たな関心や興味を覚えていただくとともに、職務職責の何た

るかを認識していただける一助となれば幸甚である。

④ 「法人各事業に於ける働き方の整理と働き易い職場づくり」について

このテーマを実行するに、職員各位が職務に励むことに「喜びややりがい」を覚えることは何より必要である。その根底には、各自の私生活の充実も当然欠かせない。例えば、法人内に男性職員の育児休暇の取得が見られるようになっている。

近年作られた新たな制度等を上手く利用しながら、公と私のバランスを取り自分なりの生活を作って欲しい。そんな実践は、後から続く人の励みになるであろう。

法人として、各事業所の有給取得率や年間退職者数等を統計化して、より働き易い職場づくりも心掛ける。

⑤ 「職責や職位を踏まえたスキルアップ研修の実施」について

コロナ感染の流行、その推移を見ながら取り組む予定であったが、残念ながら具体的な行動に移すことができなかった。

標記のテーマに限らず、研修事業にとっては正に「失われた3年」と言えよう。

次年度こそは、積極的に各種研修事業企画、参加を期す。

2. 各種会議の開催などについて

No.	会 議 名	開催回数	開催日時
1	理事会	4	5/27、10/28、1/30、3/23
2	評議員会	4	6/15、11/4、2/6、3/30
3	全体施設長会議	4	5/23、10/24、1/27、3/22
4	船橋圏内施設長会議	14	4/25、6/6、6/24、8/2、8/26、9/30、 11/25、12/7、12/23、12/26、1/5、 1/14、2/24、3/30
5	サービス向上(虐待防止)委員会	12	4/25、5/16、6/21、7/19、8/22、 9/16、10/21、11/18、12/9、1/20、 2/10、3/17
6	全体事務職会議	1	8/25
7	船橋圏内新人職員研修	4	4/2、6/20、7/28、9/29
8	船橋圏内2年目職員研修会	2	6/13、9/26
9	船橋圏内全体法人研修	1	R5.2.25
10	船橋市手をつなぐ育成会との意見交換会	1	

注) 「防災担当者会議」、「おーぱん編集会議」、「ホームページ作成会議」については開催されていません。

※ 2022(令和4)年度 理事会・評議員会開催状況一覧

《 理事会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 理事会	4	5	6	4	5	27	ZOOM	令和3年度事業報告 令和3年度決算 内部監査報告 事務長職設置 規定改正 定時評議員会開催 理事長職務状況(報告) 諸	理事 6名 監事 2名
第2回 理事会	4	9	16	4	10	28	ZOOM	第1次補正予算 諸規定改正 第2回評議員会開催 理事長職務状況(報告)	理事 6名 監事 2名
第3回 理事会	5	1	10	5	1	30	ZOOM	第2次補正予算 諸規定改正 第3回評議員会開催	理事 6名 監事 2名
第4回 理事会	5	2	28	5	3	23	ZOOM	第3次補正予算 令和5年度事業計画 令和5年度当初予算 諸規定改正 第 4回評議員会開催	理事 6名 監事 2名

《 評議員会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 評議員会	4	5	27	4	6	15	ZOOM	令和3年度事業報告 令和3年度決算 内部監査報告 事務長職設置 規定改正 諸	評議員 6名 監事 2名
第2回 評議員会	4	10	3	4	11	4	ZOOM	第1次補正予算 諸規定改正 第2回評議員会開催	評議員 6名 監事 2名
第3回 評議員会	5	1	20	5	2	6	ZOOM	第2次補正予算 諸規定改正	評議員 6名 監事 2名
第4回 評議員会	5	3	7	5	3	30	ZOOM	第3次補正予算 令和5年度事業計画 令和5年度当初予算 諸規定改正	評議員 6名 監事 2名

2. 施設等利用者の状況

令和5年3月31日現在

(1) 契約者数

利用事業	入所施設 (北総育成園・のまる)	生活介護 (北総育成園・笹川 なすな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラハウス)	児童発達支援ゆ たか(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なすな工房)	就労継続支援B型 (カメラハウス)	グループホーム (DDホームズ ・のまのまホームズ ・野の花)	合計
定員	110	90	40	143	110	20	12	70	595
4年度当初 契約者数	102	82	40	169	85	22	15	69	584
年度内新規 契約者数	1	0	3	6	19	1	1	0	31
年度内 解約者数	3	1	5	8	1	0	1	3	22
年度末 契約者数	101	81	38	166	103	23	15	67	594

(2) 利用率

利用事業	入所施設 (北総育成園・のま る)	生活介護 (北総育成園/笹川 なすな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラハウス)	児童発達支援ゆ たか(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なすな工房)	就労継続支援B型 (カメラハウス)	グループホーム (DDホームズ ・のまのまホームズ ・野の花)	合計
年間延契約者数	1,219	968	480	2,025	1,215	265	178	823	7,173
年間開所日数	365	269	269	250	246	268	250	365	285
年間延利用者数	36,612	20,997	8,485	34,536	20,286	5,847	3,182	21,550	151,495
定員に対する 利用率(%)	91%	87%	79%	97%	75%	109%	106%	84%	89%

(3) 利用者年齢区分

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	86	44	44	63	109	346
女子	22	16	25	28	51	142
計	108	60	69	91	160	488
構成比率(%)	22.1%	12.3%	14.1%	18.6%	32.8%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (成人のみ)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	14	9	11	47	94	87	262	4.8
女子	6	3	5	15	38	54	121	5.0
計	20	12	16	62	132	141	383	4.8
構成比率(%)	5.2%	3.1%	4.2%	16.2%	34.5%	36.8%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点) (全施設対象)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	293	26	20	5	344
女子	105	18	15	4	142
計	398	44	35	9	486
構成比率(%)	82%	9%	7%	2%	100%

3. 保護者の状況 (全施設対象)

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	210	17	59	37	13	4	4	344
女子利用者	73	9	26	27	7	0		142
計	283	26	85	64	20	4	4	486

令和4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 けいよう 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和4年度は、4月・9月・12月に1名ずつ、合計3名(区分4・5・6の方がそれぞれ1名1名ずつ)が新たに契約していただくことができました。

3名の内の2名は現在、週1～2日の利用ではありますが、今後利用日数を増やすことができればと思っています。また、悲しい出来事もありました。12月にご自宅にて男性の利用者1名(区分6)が病気でお亡くなりになりました。

今年度もコロナ禍の中でしたので、少しでも体調面で不安のある方は、お休みしていただくようお願いしましたが、濃厚接触者等コロナに関する事でお休みされる場合は、「代替的サービス」を利用することができた事で、収入に大きな影響はなく、結果的には昨年度より出席率も上がる形となりました。

○ 研修及び職員の取り組み

<研修>

- ・外部研修は、今年度もやはり積極的に職員に参加を促すことができず、少ない参加となってしまいました。
- ・内部研修においては、職員間から強度行動障害について学びたいという話があり、国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」から講師の方をお招きし、強度行動障害の方の支援についての講義を受けました。
実際に支援に入っている方の講義だったのでとてもわかりやすく、職員からは好評でした。今後もこのような機会を設け、支援の質の向上を目指していきたいと思えます。

<職員の取り組み>

- ・コロナ禍に加え、年度途中での退職があり、職員体制が厳しい中ではありましたが、少しでも日中活動を充実させようと行事係を中心にイベントを行う機会を増やしてくれました。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策と自身の健康管理の徹底
(日々の健康状態のチェックと確認)

○ その他

①新型コロナウイルス感染症における影響

令和4年度もコロナ禍に始まり、コロナ禍で終わってしまいました。感染対策については、利用者の方も慣れたもので、マスクの着用に始まり、手洗い・消毒等とてもスムーズに協力してくれました。日中活動においても、室内室外の活動全てにおいて、班の行き来を失くしたり、食事も完全なものではありませんが、班ごとの入れ替え制を実施して感染予防対策を徹底してきました。

幸いにも今年度は、感染が広がるようなことはなく、事業所を休所することはありませんでした。

②イベントについて

6月には利用者の親御さんが経営しているカフェを数日貸し切り、小グループでお茶会を行いました。また、クリスマス会や節分、年度末にはご苦労様会と班ごとではありますが、季節に応じたイベントを開催することができました。

どのイベントも係が中心となり準備をし、お部屋に案内のポスターを貼るなどしてイベントムードを高め、いろいろなイベントを皆さんとても楽しんで参加し、喜んで頂きました。

③ひびきの発行の継続

今年度は3回発行し、職員体制の紹介やイベントの様子等をお伝えしました。例年よりも少ない発行になってしまいましたが、ご家族には好評のようなので今後も継続していきます。

④職員体制について

年度途中での退職があり、人手不足の状態、利用者の方やご家族の方には、ご心配やご迷惑をお掛けしました。求人活動を行っていますが、面接までには至らず、厳しい状態が続いています。

職員体制が整わないと、日中活動にも影響が出ることは勿論のこと、外部の研修に行く機会も少なくなります。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤			4					4
男子非常勤			1				6	7
(常勤換算)			1				2.1	3.1
女子常勤	1	1	4					6
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.3		0.2		1	3.5
計	1	1	14	0	1	0	7	24
(常勤換算)	1	1	11.3	0	0.2	0	3.1	16.6
4年度中 増減								
男子常勤			-2					-2
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-2					-2
女子非常勤			-3		-1		1	-3
(常勤換算)			-1.9		-0.2		0.1	-2
計	0	0	-7	0	-1	0	1	-7
(常勤換算)	0	0	-5.9	0	-0.2	0	0.1	-6
5年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1				6	7
(常勤換算)			1				2.1	3.1
女子常勤	1	1	3					5
女子非常勤			2				2	4
(常勤換算)			1.1				2.1	3.2
計	1	1	8	0	0	0	8	18
(常勤換算)	1	1	7.1	0	0	0	4.2	13.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		40				40
4年度当初契約者数		39				39
年度内新規契約者数		3				3
年度内解約者数		2				2
年度末契約者数		39				39

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		473				473
年間開所日数		250				250
年間延利用者数		8484				8484
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	85%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	85%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		4	8	5	7	24
女子		1	3	5	6	15
計	0	5	11	10	13	39
構成比率(%)	0%	13%	28%	26%	33%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子			0	6	10	8	24	5.1
女子			1	2	7	5	15	5.1
計	0	0	1	8	17	13	39	5.1
構成比率(%)	0%	0%	3%	21%	44%	33%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	24		0		24
女子	15				15
計	39	0	0	0	39
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	13	2	4	3		2		24
女子利用者	6		7	2				15
計	19	2	11	5	0	2	0	39

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
新人研修	新人職員	4/1・6/20・7/28・9/29	
2年目研修	2年目職員	6/13・9/26	
合同研修	支援職	1月28日	虐待防止研修
内部研修	支援職	2月18日	強度行動障害の方への支援について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	7/24~8/15 (オンライン)	1	
安全運転管理者協会	安全運転管理責任者講習	8月19日	1	
千葉県運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決研修会	11月21日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 北総育成園 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○運営面に関して

①令和4年度もこの人達の「働くこと生きること」の実践を軸として更に高齢者重度者支援に対応してきました。最高年齢85歳、60歳以上が3割を超えた利用者の健康面や介護面について、看護師・課長・主任が中心となりこの24時間365日の入所施設業務について整えてくれました。

現場職員も皆協力しあって、入所者の生活を守り、入院は3名(80歳代1名が2回、60歳代1名が2回・40歳代1名)、うち60歳代男性が2月に逝去されました。

入院までに至らずとも、認知機能の衰退・不眠・歩行困難な利用者が増え、介護・健康管理の業務がますます重要になってきました。

食事・排泄・移動等の個別支援・衣類や個室管理等にも丁寧に対応してきました。

8班の作業時間は平日の午前中だが、農耕や林産は午後も行う日も増えました。

11/3東庄町ふれあい祭り販売参加、多古や栗源の道の駅・常連さんを中心に売り上げが伸びています。各職員の意欲・努力のお陰で各班新製品の開発も進めています。小さな報告連絡相談・話し合いを大切に、園としてもそのモチベーションを支える取り組みをしてきました。7/19には夏祭り・11/9には秋祭りを開催し、皆が楽しめる良い成果が出ました。第8波が落ち着いてきた3月には、久しぶりに地元食堂他への外食に行き、3/29には初のキッチンカーで全員が大判焼きやお団子などおやつを楽しんだり、少人数での買い物やドライブ外出等も再開しています。

②帰宅は、歯科通院などで2～3泊2名、年に2～3回ずつ実施し、面会も年間通して10名程が当園プレールームで行ない、電話やZoom面会も継続してきました。

毎月のお知らせや居室・作業班だよりは写真入りで保護者の方々に喜ばれています。親や兄弟姉妹の逝去などでご家庭の変化もあり、ご家族の高齢化などにより、身元引受人などを各市町村とも相談しながら成年後見制度の申請を行ない、4名の方に新しく成年後見人が選定されました。

③衛生管理と感染予防についてはマニュアルに従って全職員努力してきたが、8月に男性利用者12名のコロナ陽性者がでて、約1か月全職員でクラスター対応を行った結果、全員軽症で回復しました。PCR検査で全職員陰性結果の直後であり、感染経路は不明でした。

千葉県事業による抗原頻回検査を12月から3月まで週2回実施し安心につながった。

しかし職員の家族がコロナ陽性や濃厚接触者になったり・体調不良(ワクチン副反応含む)などで急に休む職員も多く、勤務変更や超過勤務に協力し、緊急的な調整が出来たこともこの1年の大きな成果でもありました。

衛生講習・衛生管理マニュアル・最新情報を適切に取り入れ職員の精神衛生にも配慮し対応してきました。

④人材確保と人材育成について

この仕事は職員さんの力あってこそこの仕事です。このコロナ禍で職員が皆心を合わせて多くの努力をしてくれたことに心から感謝します。本当に有難うございました。新職員募集は、各学校への求人票送付や説明会、ハローワーク、インディード等のネットワークを利用。当園を広く知って頂くために、ホームページのブログを12月から月2回写真多めに再開しました。保護者からも「園の様子がよくわかる」と好評でした。今年度は、理事長・事務長に相談しながら、常勤及び非常勤職員の就業規則と給与規程の改正を行いました。本部規程に沿って現状の労基法規程に則した見直しを行い、全職員に説明を行いました。

⑤防災安全について

非常物品や非常食の管理・避難訓練・緊急連絡メール訓練・環境整備・非常時のBCP作成を行ってきました。平成27年新棟新設と既存棟改修から7年経過し、ボイラー・エアコン・受水槽・ガス警報器等補修工事、9月は北総入口町道脇の高木伐採・各作業班作業場の補修・電気工事なども行いました。今後も安全管理を第一にメンテナンス・補修を行っていく予定です。

⑥令和4年度より「船橋市指定管理第4期」による基本協定書が締結されました。今後も船橋市施設として、より責任ある運営を行っていく所存です。

⑦給食について

(株)メフォスの業務委託も2年が経過し、毎月と必要時に話し合いを重ね、良い形になってきました。温冷配膳ワゴンの導入をし介護食(刻み食・ペースト食・ヘルシー食・とろみ食他)も多くなり、より専門的な食事の支援が可能になりました。

○研修及び職員の取り組み

①園内虐待防止・権利擁護研修 全職員対象

虐待防止権利擁護委員会によるアンケートと話し合い 7/6 19名 11/9 18名

②千葉県虐待防止権利擁護研修 伝達研修（猪田・保科より全職員対象）1月

③ 4/5医務講習・防災講習 全職員対象

④職員行動チェックリスト提出 集計し3月に内容を報告 全職員対象

(1)前期8月 (2)後期3月22日 まとめを配布

⑤香取保健所給食管理研修9/2 佐藤栄養士

⑥千葉県知的障害者福祉協会

広報委員会 9/6.12/5.3/6 菅谷

障害者支援部会研修会11/28千葉 白樫・猪田

施設長研修3/7鴨川 白樫

⑦千葉県施設機能研修会青年部会(強度行動障害研究)猪田 12/20

⑧強度行動障害者支援者基礎研修修了 2名(高橋・佐藤)

⑨香取市相談支援部会 11/18.2/17 菅谷・絵鳩

⑩苦情解決研修(Zoom)11/21 高木

⑪防災防火管理責任者講習 12/22.21 遠藤

⑫福祉資格取得支援制度

令和4年度国家試験合格 介護福祉士1名(鈴木)

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤		1	16					17
男子非常勤	1		3					4
(常勤換算)	0.5		1.7					2.2
女子常勤		1	12		1	1	3	18
女子非常勤			10					10
(常勤換算)			5.4					5.4
計	1	2	41	0	1	1	3	49
(常勤換算)	0.5	2	35.1	0	1	1	3	42.6
4年度中 増減								
男子常勤			-1					-1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-2				-1	-3
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	-3	0	0	0	-1	-4
(常勤換算)	0	0	-3	0	0	0	-1	-4
5年度当初								
男子常勤		1	17					18
男子非常勤	1		3					4
(常勤換算)	0.5		1.7					2.2
女子常勤		1	11		1	1	2	16
女子非常勤			10				1	11
(常勤換算)			5.4				0.6	6
計	1	2	41	0	1	1	3	49
(常勤換算)	0.5	2	35.1	0	1	1	2.6	42.2

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員	75	75				150
4年度当初契約者数	68	69				137
年度内新規契約者数	0	0				0
年度内解約者数	1	1				2
年度末契約者数	67	68				135

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	813	812				1625
年間開所日数	365	269				634
年間延利用者数	24414	18059				42473
定員に対する利用率(%)	89%	90%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	45%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子	0	1	4	6	30	41
女子	0	2	3	4	17	26
計	0	3	7	10	47	67
構成比率(%)	0%	4%	10%	15%	70%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	0	1	10	30	41	5.7
女子	0	0	0	0	9	17	26	5.7
計	0	0	0	1	19	47	67	5.7
構成比率(%)	0%	0%	0%	1%	28%	70%	100%	

(5)援護市町村区分(令和5年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	29	4	7	1	41
女子	12	4	6	4	26
計	41	8	13	5	67
構成比率(%)	61%	12%	19%	7%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	14	3	7	11	6	0	0	41
女子利用者	6	3	3	10	4	0	0	26
計	20	6	10	21	10	0	0	67

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
医務講習・防災講習	全職員	4/6 水	誤飲対応・衛生管理・防災設備説明他
衛生管理講習	全職員	6/15.12/7	講師 千葉県こども病院CNIC前田看護師
虐待防止権利擁護研修	全職員	7/6水・11/9水	不適切と思う支援や疑問についてアンケート集計の上グループワーク、発表
職員行動チェックリスト提出	全職員	8月・3/22水	職員行動チェックリスト自己採点提出・集計・配布説明
県虐待防止権利擁護研修伝達研修	全職員	1月22日	12月千葉県虐待防止権利擁護研修受講者より全職員へ伝達研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県知的障害者福祉協会	障害者支援部会施設長等研修	4月5日	1	
千葉県知的障害者福祉協会	障害者支援部会施設長等研修	11月28日	2	
千葉県知的障害者福祉協会	施設長等一泊研修	3月7日	1	
香取保健センター	香取保健所給食管理研修	9月2日	1	
施設機能研究会	施設機能研究会青年部会	12月20日	1	
千葉県知的障害者福祉協会	強度行動障害者支援者基礎研修	12/2.12/7	2	
千葉県運営適正化委員会	苦情解決研修	11月21日	1	
一般財団法人日本防火・防災協会	防災防火管理責任者講習	12/21.22	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	R4年5月14日	足がもつれ転倒し右足骨折	嘱託医の病院にて受診レントゲンの結果「右大腿骨骨頭亀裂骨折」 安静を保つ 車いす対応	有	
2	R4年6月10日	転倒して右腕骨折	旭中央病院にて受診レントゲンの結果 「右上腕骨大結節骨折」安静を保つため、 右胸から右腕を帯固定	有	
3	R4年11月9日	起床時右腕が腫れていた	嘱託医の病院にて受診レントゲンの結果 「左腕肘頭骨折」腫れがひいてから ギブス固定を行う	有	
4	R5年3月16日	作業中に異物を飲む	消化器内科医師に内視鏡にて異物は取り出す が胃・大腸に他の異物あり経過観察の為入院 退院後は支援対応についての見直しを図っていく	有	

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 ゆたか福祉苑 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和4年度の新規利用契約者は、4月に2名、5月1名、6月1名の計4名でした。逆に、他市への転居1名、通所先の変更2名、死去2名の計5名が契約解除となりました。

年度末時点での利用契約者は89名となっています。

今年度も、新型コロナウイルスに運営面でも大きく揺さぶられる年になりました。特に8月の第7波では、ご利用者様ならびに職員総勢20名を超える大きなクラスターが発生し、お盆期間前後にわたる長期休苑を余儀なくされました。さらに第8波では、12月と1月に、それぞれ10名に迫る集団感染があり、発生した活動班ごとに、部分休所の対応を取らせていただきました。

この他、単発で感染者が発生する都度、その方と接触の度合いが高かった方々には利用を控えていただく必要があり、くり返しダメージを受けました。

物価高騰についても、当然ながら影響は大きく、利用者負担額の値上げをお願いせざるを得ない状況となりました。

4月から送迎燃料費を、令和5年1月からは給食委託業者による価格改定をさせていただきます。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・オンデマンド教材を用いた苑内研修の実施
- ・感染症予防の振り返りと改善点の確認
- ・ヒヤリハット検証と危機管理訓練
- ・書籍や資料を用いて支援職倫理に関するディスカッション
- ・大型テレビにて、YouTubeコンテンツによるカラオケ、音楽ダンス、ストレッチ体操、ゲーム等
- ・キッチンカーイベントの企画・実施

○ その他

何でもコロナ禍を、負の原因として結び付けてはいけませんが、外出の自粛や、外部との交流が希薄な状況が続く中で、知らず知らず私たち職員の支援者としての倫理観や視野が狭まってきていると、近ごろは感じていました。

ご利用者様の支援について熱心に考えているつもりでいても、自身の関わる範囲が事業所内に留まるうちに社会的客観性が失われてくるのではないかと…。事業所内だけの関わりに終始するうち、『職員=支援する人、利用者=支援される人』という関係に埋没してしまいそこからご利用者様を上からの視点で見ようになり、「あなたのため」だとか「良かれと思って」などと職員優位の考えに導こうとする、所謂パターンリズムに陥ってしまうということです。

そこで、今年度は職員会議日における事業所内研修や、支援職の立場性や役割りについて考える機会を、くり返し設けてきました。

本来、事業所外部との交流や、広く一般の目に触れる中で、社会的客観性は醸成されていきますが、それに及ばずとも、脱コロナを迎えるまでの維持や下準備として、力を入れて取り組みました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤	1	1	10					12
男子非常勤			4				4	8
(常勤換算)			3.4				1.2	4.6
女子常勤			6		1		1	8
女子非常勤			8				1	9
(常勤換算)			7.6				0.9	8.5
計	1	1	28	0	1	0	6	37
(常勤換算)	1	1	27	0	1	0	3.1	33.1
4年度中 増減								
男子常勤		-1	-1					-2
男子非常勤							-2	-2
(常勤換算)							-0.4	-0.4
女子常勤			0					0
女子非常勤			1				0	1
(常勤換算)			1.3				-0.5	0.8
計	0	-1	0	0	0	0	-2	-3
(常勤換算)	0	-1	0.3	0	0	0	-0.9	-1.6
5年度当初								
男子常勤	1		12					13
男子非常勤			4				3	7
(常勤換算)			3.4				1.1	4.5
女子常勤		1	5		1		1	8
女子非常勤			9				0.4	9.4
(常勤換算)			8.9					8.9
計	1	1	30	0	1	0	4.4	37.4
(常勤換算)	1	1	29.3	0	1	0	2.1	34.4

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		75				75
4年度当初契約者数		92				92
年度内新規契約者数		2				2
年度内解約者数		5				5
年度末契約者数		89				89

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		1099				1099
年間開所日数		250				250
年間延利用者数		17844				17844
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	95%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子	1	6	7	19	23	56
女子	1	6	6	9	11	33
計	2	12	13	28	34	89
構成比率(%)	2%	13%	15%	31%	38%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				11	23	22	56	5.2
女子				2	8	23	33	5.6
計	0	0	0	13	31	45	89	5.4
構成比率(%)	0%	0%	0%	15%	35%	51%	100%	

(5)援護市町村区分(令和5年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	55		1		56
女子	29		4		33
計	84	0	5	0	89
構成比率(%)	94%	0%	6%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	34	3	13	4		2		56
女子利用者	18	2	8	4	1			33
計	52	5	21	8	1	2	0	89

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
法人新任者研修	支援職員	4/2、6/20 7/28、9/29	権利擁護、虐待防止、身体拘束の禁止、アンガーマネジメント、ヒヤリハット、KYT 等
法人2年目研修	支援職員	6/13、9/26	権利擁護、虐待防止、身体拘束の禁止、アンガーマネジメント、ヒヤリハット、KYT 等
感染症対策の振り返り	支援職員	R4.8.17	新型コロナの集団感染から、対策の振り返りと改善点についての確認
虐待防止・身体拘束禁止について	支援職員	R4.8.27	オンデマンド動画の視聴および事例に基づく管理者の講話による研修
車両置き去り事故について	支援職員	R4.9.24	静岡県で発生した園児置き去り死亡事件から、事故防止策および現状での取り組みを確認
支援職の役割について考える	支援職員	R4.10.29	書籍『本当の気持ちと出会うとき』より抜粋した資料を読み、支援職員の役割や立場について考える
法人虐待防止研修	支援職員	R5.1.28	淑徳大学 松浦教授による虐待防止および身体拘束に関する講演
支援に関するワーク	支援職員	R5.2.25	管理者からの資料を基に、支援者としての立場、態度、言葉使い等のディスカッション

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
都通研	支援者のメンタルヘルスと対人サービスのあり方を考える	9月28日	1	オンライン
千葉県知的障害者福祉協会	日中活動支援部会研修会	11月7日	1	
千葉県	強度行動障害支援者研修	12/2・13 2/21・23	1	
千葉県	サービス管理責任者研修	12/7・9	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生日月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	R4.5.19	突如不穩になった方が手持ちのホワイトボードを投げ、近くにいた方の額に当たり出血した	突発的な行動を念頭に、見守りの強化	無	
2	R4.5.12	階下へ向かう途中に階段を踏み外し転落	上履きをゴムサンダルから靴に変更いただいた	無	
3	R4.11.28	トイレ帰りにふらついた(ご本人談)ため階段から転落	精神面・心理面の不調も含めて行動を見守る	有	
4	R5.3.3	散歩中に前触れなく転倒し、頭と顔を地面にぶつける大怪我	てんかんの可能性あり、前触れなき転倒にも注意する	有	

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 のまる 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1 施設入所支援

・感染対策

コロナウイルス感染症第7波・第8波への感染予防対策、看護師・支援職が一丸となって利用者の体調変化の早期発見と通院支援、他事業所での感染事案への対処を行い利用者の重症化を防ぐ取り組みを行う1年でした。

今年度は数名の利用者・職員の罹患はありましたが、感染拡大やクラスター事案もなく運営することが出来ました。

・生活の様子

コロナ禍で生活の変化が少ない状況であるため、外に出る事を主体とした活動を行いました。利用者の健康状態、天気や気温を見て、可能な限り、歩行や散歩を実施し、歩行が、難しい場合は日向ぼっこ、気分転換のドライブ、近隣のコンビニや自販機で好きな買い物をする時間を設けました。

行事はユニットごとで開催しました。

集団行動が苦手な利用者も、長時間行事に参加することが出来たり、新たな取り組みとして企画立案に活かすことが出来ました。

2.生活介護

濃厚接触者に対して、人の交差を防ぐよう、活動班のメンバー構成を変更しました。

人の少ない公園での散歩、利用者の個性に合わせたグループでの室内作業を通して日々の生活リズムの維持と運動量の確保に取り組みました。

利用者同士の相性の変化や活動内容への集中力などを考慮し、活動内容の提供の幅を増やして行きます。

3.短期入所

コロナウイルス第7波・第8波の市中感染拡大時は、保健所からの健康観察指示等により、サービス提供が不安定な状況となり、短期入所希望者に対して、利用を控えて頂きました。しかし、緊急対応や家族の体調不良、入院等の事由については感染症予防対策をとりながらサービスを提供しました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・内部研修、外部研修、オンライン形式の研修参加。

研修項目

法人内新人研修

法人内2年目支援職研修

強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)

障害者福祉制度の理解と介護保険サービスとの連携研修

個別支援計画作成及び運用に関する研修

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー編

虐待防止研修(講師:淑徳大学 松浦教授)

虐待事故防止の具体策研修

新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会

知的障害を理解するための基礎研修

サービス管理責任者更新研修

令和4年度 介護支援専門員更新研修

施設長等一泊研修

施設内身体拘束廃止研修

施設内虐待防止研修

施設内感染症予防研修

- ・感染予防と余暇活動の両立

時間や店舗のお客様人数を考慮して、ご利用者様の好きな物を買物しています。マスク着用が難しい方は、自動販売機での買物を行い、楽しい時間の提供に努めました。

- ・行事開催の工夫

ユニットごとに1日4回の行事を開催しました。

飲食や職員の出し物などを行った後に、利用者が入替わるタイミングで消毒を行い感染予防に努めました。

○ その他

令和4年度は新型コロナウイルス感染予防に取り組み、施設内でのクラスター発生を抑えることが出来ました。しかし、職員は濃厚接触等による欠勤で支援職員の確保とシフト調整に苦慮しましたが、職員の協力で支援を継続する事が出来ました。

第8波の落ち着きと感染者数減少を考慮し、活動内容の変更、短期入所サービス及び日中一時支援サービスの拡充をし、地域からの受け入れに力を入れています。

特に短期入所サービスへの要望は高く、サービスを希望される利用者様の障害特性を考慮しユニットの調整を行いながら、受け入れられる範囲で対応しています。今後も、基本的な感染予防対策を行いながら地域での、拠点的役割が果たせるように取り組んでいきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初	1	1	37	0	2	0	1	
男子常勤	1	1	16	0	0	0	0	18
男子非常勤	0	0	4	0	0	0	0	4
(常勤換算)			3.4					3.4
女子常勤	0	0	11	0	0	0	1	12
女子非常勤	0	0	6	0	2	0	0	8
(常勤換算)			3.3		1.2			4.5
計	1	1	37	0	2	0	1	42
(常勤換算)	1	1	33.7	0	1.2	0	1	37.9
4年度中 増減	0	0	-4	0	-1	0	0	
男子常勤			-3					-3
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-2		1			-1
女子非常勤			0		-2			-2
(常勤換算)			-0.2		-1.2			-1.4
計	0	0	-5	0	-1	0	0	-6
(常勤換算)	0	0	-5.2	0	-0.2	0	0	-5.4
5年度当初	1	1	32	0	1	0	1	
男子常勤	1	1	15	0	0	0	0	17
男子非常勤	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)			1.4					1.4
女子常勤	0	0	9	0	1	0	1	11
女子非常勤	0	0	6	0	0	0	0	6
(常勤換算)			3.5					3.5
計	1	1	32	0	1	0	1	36
(常勤換算)	1	1	28.9	0	1	0	1	32.9

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
定員	35	40	7			82
4年度当初契約者数	34	40	15			89
年度内新規契約者数	1	3	4			8
年度内解約者数	2	5	0			7
年度末契約者数	34	38	19			91

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	414	463	20			897
年間開所日数	365	269	365			999
年間延利用者数	12198	8485	167			20850
定員に対する利用率(%)	95%	79%	7%	#DIV/0!	#DIV/0!	25%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	0	2	7	8	10	27
女子	0	0	3	2	2	7
計	0	2	10	10	12	34
構成比率(%)	0%	6%	29%	29%	35%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	0	1	12	14	27	5.5
女子	0	0	0	0	3	4	7	5.6
計	0	0	0	1	15	18	34	5.5
構成比率(%)	0%	0%	0%	3%	44%	53%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	22	0	4	1	27
女子	6	0	1	0	7
計	28	0	5	1	34
構成比率(%)	82%	0%	15%	3%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	11	3	7	3	2	0	1	27
女子利用者	4	1	1	1	0	0	0	7
計	15	4	8	4	2	0	1	34

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	支援職	6月6日	虐待防止について
ハラスメント防止研修	全職員	6月10日	障害福祉の現場におけるハラスメントについて
身体拘束廃止研修	サービス管理責任者 ユニットリーダー	6月17日	身体拘束とは
新人者研修	新入職職員	7月28日	障害者虐待防止・権利擁護について
2年目職員研修	2年目職員	9月26日	アンガーマネジメントについて
虐待防止研修	支援職	1月28日	虐待について(法人研修)
感染症予防研修	全職員	2月10日	感染症予防委員会より(感染予防について)
虐待防止研修	個別対応	2/7～	事例を踏まえた対応について
身体拘束廃止研修	サービス管理責任者 ユニットリーダー	2月24日	身体拘束の原因や対応について考える。

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
しかくの学校ホットライン	強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	5/13～	1	
船橋市中部地区主任ケアマネ連絡会	障害者福祉制度の理解と介護保険サービスとの連携研修	7月15日	1	
千葉県社会福祉協議会 介護支援専門員養成班	令和4年度介護支援専門員更新研修	9/6～	1	
日本知的障害者福祉協会	知的障害を理解するための基礎知識	11/1～	2	
戸山サンライズ	令和4年度個別支援計画作成及び運用に関する研修会	11月15日	4	
船橋市	新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会	11/15.16	2	
千葉県社会福祉協議会 社会福祉研修センター	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー編	11/21～	3	
千葉県精神障害者自立支援事業協会	令和4年度サービス管理責任者更新研修	2月17日	1	
あいおいニッセイ同和損保	虐待事故防止の具体策	2月20日	2	
千葉県知的障害者福祉協会	千葉県障害福祉の動向/インボイス制度について	3/7.8	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	2022年4月11日	概要/送迎車内での他害行為 状況/パニック状態にて職員を叩く	対応/本人にクールダウンして頂く。 対策/声掛け方法・座席の位置を固定する。	なし	
2	2022年5月22日	概要/手首の打撲 状況/居室内でのふらつきで手を着く	対応/通院し打撲の診断 対策/居室内の環境配慮を行う	あり	
3	2022年7月7日	概要/下剤の服用 状況/排便ありの伝達不足による服用	対応/健康観察を行いました。 対策/排便後の記録方法を改善する。	なし	
4	2022年7月8日	概要/破壊行為 状況/高揚し便座を叩きヒビが入る。	対応/外傷確認とクールダウンを促す。 対策/トイレの声掛けタイミングを調整する。	なし	
5	2022年7月9日	概要/コロナウイルス感染 状況/利用者1名罹患	対応/体調観察と感染予防に伴う支援を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
6	2022年7月11日	概要/破壊行為 状況/高揚し排煙窓レバーを壊す。	対応/怪我防止の為、部品の破片を処理する。 対策/本人の情緒に合わせた支援を行う。	なし	
7	2022年7月21日	概要/破壊行為 状況/高揚しテレビを壊す。	対応/怪我防止の為、部品の破片を処理する。 対策/本人の情緒に合わせた支援を行う。	なし	
8	2022年8月18日	概要/コロナウイルス感染 状況/利用者1名罹患	対応/体調観察と感染予防に伴う支援を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
9	2022年9月19日	概要/左側頭部の裂傷 状況/トイレのドアと接触	対応/通院し3ヶ所縫合 対策/トイレ前に座らない様に促す。	あり	
10	2022年11月13日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員2名罹患	対応/自宅療養と待機を行う。 対策/関わりがあった利用者様の健康観察	あり	
11	2022年11月26日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員1名罹患	対応/自宅療養と待機を行う。 対策/関わりがあった利用者様の健康観察	あり	
12	2022年12月17日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員1名罹患	対応/自宅療養と待機を行う。 対策/関わりがあった利用者様の健康観察	あり	
13	2022年12月20日	概要/コロナウイルス感染 状況/利用者1名罹患	対応/体調観察と感染予防に伴う支援を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
14	2022年12月24日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員1名罹患	対応/自宅療養と待機を行う。 対策/関わりがあった利用者様の健康観察	あり	
15	2022年12月30日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員1名罹患	対応/自宅療養と待機を行う。 対策/関わりがあった利用者様の健康観察	あり	

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 とらのこキッズ 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

基本を見直す＝子ども達にとって「安心できる楽しい場所を目指して」

・発達支援(療育)を行う場所の前に児童福祉施設であることを、保育者や保護者に全面にお知らせしました。子どもたちには「できること」がたくさんあります。私たちの仕事は子どもたちの「できること」を、「できるようになる」ことにつなげていくことです。そのためには保育士や大人の「できるようにさせる」気持ちを取り除くことが必要と思います。一人ひとりの子どもの気持ちや状況に応じ、「できるようになる」ための楽しい経験や達成感を大切に、子ども主体性を引き出す保育者間での共有の糸口になった年であるかと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

職員(保育者)のスキルアップ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、今年度も外部研修を保育者全体に一定の機会として設けることはできませんでした。次年度は各々の保育者自身の持つ課題や主体性に応じた研修の機会を設け、職場全体にフィードバックできるように努めたいと思います。

○ その他

- ・ 歯科検診は、新型コロナウイルスの影響を受け、今年度は1回のみとなりました。
- ・ 建物内の設備・備品の消毒、給食時は、保育者と子どもが共に食することが出来ないため、降園時間が14時半から14時になりました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初	1(兼務)	1	19		1	業務委託	5 運転手 (派遣)	27
男子常勤	1							1
男子非常勤							2	2
(常勤換算)							1	1
女子常勤		1	13				1	15
女子非常勤			6		1		2	9
(常勤換算)			3		0.3		0.4	3.7
計	1	1	19	0	1	0	3	27
(常勤換算)	1	1	16	0	0.3	0	2.4	20.7
4年度中 増減			-4					-4
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-3					-3
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-0.75					-0.75
計	0	0	-4	0	0	0	0	-4
(常勤換算)	0	0	-3.75	0	0	0	0	-3.75
5年度当初	1(兼務)	1	19		1	業務委託	5	27
男子常勤	1							1
男子非常勤							2	2
(常勤換算)							1	1
女子常勤		1	13		0		1	15
女子非常勤			6		1		2	9
(常勤換算)			3.86		0.3		0.32	4.48
計	1	1	19	0	1	0	5	27
(常勤換算)	1	1	16.86	0	0.3	0	2.32	21.48

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			30			30
4年度当初契約者数			26			26
年度内新規契約者数			5			5
年度内解約者数			0			0
年度末契約者数			31			31

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			367			367
年間開所日数			250			250
年間延利用者数			6,436			6,436
定員に対する利用率(%)			86%			86%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	26					26
女子	5					5
計	31	0	0	0	0	31
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	26						26	1.0
女子	5						5	1.0
計	31	0	0	0	0	0	31	1.0
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和5年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	26				26
女子	5				5
計	31	0	0	0	31
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	25	0	1					26
女子利用者	5	0	0					5
計	30	0	1	0	0	0	0	31

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
2年目研修	3	R4.6.13	アンガーマネジメントとより良い支援・ヒヤリハット
新任者研修	1	R4.7.28	アンガーマネジメントとより良い支援・ヒヤリハット
2年目研修	2	R4.9.28	認知行動変容アプローチ/虐待防止研修
新任者研修	1	R4.9.29	認知行動変容アプローチ/虐待防止研修
サービス向上員会	保育者(10名)	R5.1.28	法人全体での虐待防止研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
船橋市こども発達相談センター	感覚統合療法	9/6	1名	
船橋市こども発達相談センター	感覚統合療法	R4.10.7	1名	
船橋市こども発達相談センター	学校の合理的配慮って何するの？	10/15	10名	
船橋市こども発達相談センター	感覚統合療法	11/1	1名	

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
		なし			

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 さざんかキッズ 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

- ・4月当初は知的障害児53名、肢体不自由児6名の計59名でスタートするが、5月6月で知的9名肢体1名の増員し、計73名となりました。1月末年少男児1名が幼稚園に転園となり、3月31日では72名となる。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策は行なってきましたが、4回の集団感染がおり、休園もしくはクラス閉鎖の対応をとりました。また、3月にはインフルエンザの集団感染も起こり、4日間休園しました。
- ・職員の人員不足の中で、複数名の体調不良者が出たこともあり、やむを得ずクラス閉鎖となり、保護者や利用園児に多大なご迷惑をお掛けしました。そのような中でも、昨年に引き続き、親子行事「音楽であそぼ」「散歩に行こう」を実施し、園児も保護者も楽しく過ごせるよう工夫をしました。
- ・この2年間保護者の見学を中止してきましたが、クラス毎に人数を決めて実施し保護者には大変好評でした。
- ・園児のバス降ろし忘れ事故を受けて、園児降車後の点検方法を見直し、保育士・運転手・クラス担任・施設長の4回チェックを行ないました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・法人での1年目研修3回 2年目研修2回実施
- ・園内では虐待研修を行なう
- ・摂食研修では今年度も日本歯科大学から児玉先生を年4回お呼びし、主に肢体不自由児の摂食を直接指導してもらい、併せて栄養士・調理員も交えての摂食の研修ができた。
- ・年度末、支援職員に向けて今後勉強したいことを聞くアンケートを配ると日々の保育に関わる保育の実践、専門職からの講演等、様々な意見が出る。毎日の実践の中で、これで良いのだと言う達成感が起こりにくい仕事なので個々の日常を振り返るような研修を次年度は計画していきたい。

○ その他

- ・開園から8年が経ち、経年劣化ともいえる箇所が増え修繕を行いました。
 - *室内空調機器については、点検と修繕。
 - *園庭遊具は2年に一度の点検補修を実施。
 - *保育室等の壁・扉の補修を実施。今後も定期的に点検を行ない、早めの修繕を行なっていきたい。
- ・園児の使用する玩具・教材・大型遊具・備品についても、必要なものから優先順位をつけ購入できた。
 - *バランスストーン、ブロック *パズルマット
 - *小型トランポリン等
- ・今年度より、バス位置情報(マチコミ)に登録したことで、送迎バスの遅れの際にも、保護者が自身で送迎バスの位置を確認できるようになり喜ばれている。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師・専 門職	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初							派遣	
男子常勤					1			1
男子非常勤							3	3
(常勤換算)							1.5	1.5
女子常勤	1	3	20		1			25
女子非常勤			9		2	1	1	13
(常勤換算)			5.3		0.9	1	1	8.2
計	1	3	29	0	4	1	4	42
(常勤換算)	1	3	25.3	0	2.9	1	2.5	35.7
4年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤								0
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			0.3					0.3
計	0	0	-1	0	0	0	0	-1
(常勤換算)	0	0	0.3	0	0	0	0	0.3
5年度当初							派遣	
男子常勤					1			1
男子非常勤							3	3
(常勤換算)							1.5	1.5
女子常勤	1	4	21		1		1	28
女子非常勤			8		2	1		11
(常勤換算)			4.4		0.9	1		6.3
計	1	4	29	0	4	1	4	43
(常勤換算)	1	4	25.4	0	2.9	1	2.5	36.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			80			80
4年度当初契約者数			59			59
年度内新規契約者数			14			14
年度内解約者数			1			1
年度末契約者数			72			72

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			848			848
年間開所日数			250			250
年間延利用者数			13850			13850
定員に対する利用率(%)			69%			69%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	56					56
女子	16					16
計	72	0	0	0	0	72
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	56						56	1.0
女子	16						16	1.0
計	72	0	0	0	0	0	72	1.0
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	56				56
女子	16				16
計	72	0	0	0	72
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	54	0	1		1			56
女子利用者	14	0	2					16
計	68	0	3	0	1	0	0	72

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
園内研修	支援職員	R4.4.14	虐待を考える
2年目研修	2年目職員	R4.6.13	アンガーマネージメント・ヒヤリハット
新人研修	1年目職員	R4.6.20	アンガーマネージメント・ヒヤリハット
新人研修	1年目職員	R4.7.28	障害者虐待・権利擁護
2年目研修	2年目職員	R4.9.26	知的や発達に障害を持つ人の社会的立場と 障害福祉サービス従事者の研修
新人研修	1年目職員	R4.9.29	知的や発達に障害を持つ人の社会的立場と 障害福祉サービス従事者の研修
サービス向上研修	支援職員	R5.1.28	虐待防止研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉リハビリテーションセンター	聞こえと言葉の地域支援研修会	R5.6.24 7.29	1名	
千葉県	児童発達支援管理責任者基礎研修	R5.1.10 1.11	1名	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【笹川なずな工房】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1・ 令和4年度は生活介護班13名、就労継続支援B型22名の計35名でのスタートとなりました。

コロナ禍3年目に突入しての通所利用においては、感染対策の継続が生活の基本となっています。

① 衛生管理・感染予防

衛生管理・感染予防では県指導によるPCR検査や、抗原検査を実施し、職員が安心して働ける環境づくりが出来ました。また、濃厚接触者や、体調不良、ワクチン接種による副反応などで休む職員に対し、勤務変更に協力し業務を行う体制も出来ました。

北総育成園にて開催の衛生講習、衛生管理講習に参加し、最新の情報を取り入れて職員の不安や精神的負担にならないように対応してきました。

この間、利用者の家庭で2名、通所後に体調不良を訴え通院し、コロナ陽性の診断が出ました。保健所の指導のもと3日間の休業、それ以上の広がりはなく留めることができたのは、日ごろから感染対策を適切に実践し、きちんと行えていたからだといえます。

② 人材確保と育成

職員あつての仕事であり、職員なくては質の良い適切な利用者支援が不可能なこの仕事です。4月に非常勤職員2名の入職、10月に常勤職員1名が新たに加わりました。

新しい環境のもと、覚えることも多い中で意欲的、献身的に一つ一つに拘わり、寄り添ってくれています。

安心して意欲的に業務が遂行できるよう連絡、相談、情報を共有し、活動出来るようにと考えます。

③ 生産活動

コロナ禍の中で、令和4年は少しずつ日常が戻ってきたため、現状の活動やパン等の注文販売を継続しました。県セルプ主催の展示・販売会、ナイスハートバザール幕張イオン販売、秋には3年ぶりに町、市主催のイベントが開催されて出店を皮切りに年明けは、いちご農家さんのジャム、焼き菓子の注文が量産体制となり忙しい作業が続きました。利用者は皆、生き生きと自分の役割、担当に精を出して頑張っています。

④ 施設整備

現行車両の経年劣化に伴い、リース車両を導入し、全送迎車両にドライブレコーダーを設置しました。建物では1階業務用エアコンの入替、天井の修繕等を行い、植木、植栽の手入れを実施し、安全管理を第一に定期的なメンテナンス、補修に努めていきます。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・虐待防止研修・職員個々に感じる支援

全体研修の実施

- ・DWAT研修、衛生管理研修、安全運転管理者研修、虐待防止研修

全体に情報共有し理解を深め努めました。

- ・北総育成園主催 衛生講習会研修

コロナ禍の正しい感染対策を学ぶ場から職員へ伝達

○ その他

・夏には なずな工房夏祭り、冬には県民の森散策とスポーツ大会を開催、年度末にはキッチンカーを招致して昼食会を実施しました。初めての試みでしたが皆さん、とても喜んでいただけました。

・続くコロナ禍、感染対策の継続をしながら、出来ることを全体で考え毎日の作業を実践していく様、努めました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1					1
女子常勤	1	1	1				1	4
女子非常勤			4		1	1	1	7
(常勤換算)			1.6		0.2	0.5	0.5	2.8
計	1	1	9	0	1	1	2	14
(常勤換算)	1	1	5.6	0	0.2	0.5	1.5	9.8
4年度中 増減			0					
男子常勤			0					0
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤	1	1	2					4
女子非常勤			3		1	2	1	7
(常勤換算)			1.2		0.2	0.7	0.4	2.5
計	1	1	6	0	1	2	2	12
(常勤換算)	1	1	5.7	0	0.2	0.7	1.4	10
5年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤	1	1	2				1	5
女子非常勤			3		1	2	1	7
(常勤換算)			1.2		0.2	0.9	0.4	2.7
計	1	1	8	0	1	2	2	14
(常勤換算)	1	1	5.7	0	0.2	0.9	1.4	10.2

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		15		20		35
4年度当初契約者数		13		22		35
年度内新規契約者数		0		1		1
年度内解約者数		0		0		0
年度末契約者数		13		23		36

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		156		265		421
年間開所日数		268		268		536
年間延利用者数		2938		5847		8785
定員に対する利用率(%)		73%		109%		47%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	11	5	0	5	22
女子	0	4	7	3	0	14
計	1	15	12	3	5	36
構成比率(%)	3%	42%	33%	8%	14%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	10	2	2	4	4		22	2.5
女子	5	0	1	5	3		14	3.1
計	15	2	3	9	7	0	36	2.8
構成比率(%)	42%	6%	8%	25%	19%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和5年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	0	19	1	2	22
女子	0	14	0	0	14
計	0	33	1	2	36
構成比率(%)	0%	92%	3%	6%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	13	0	6	2	1	0	0	22
女子利用者	11	1	1	0	1	0	0	14
計	24	1	7	2	2	0	0	36

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
衛生管理研修	常勤職員	5・6・8・12月	感染対策 食品衛生における留意点 清掃、消毒の確認
工賃査定会議	常勤職員	毎月第二週 土曜日	作業の様子 モニタリング 会議
衛生講習会	職員1名～2名	6/15・12/7	北総育成園開催千葉県こども病院感染管理特定認定看護師前田看護師講習
グループホームの暮らし	常勤職員	11/17・19	利用者の高齢化に伴う連携
虐待防止研修	全職員	1/14. 20.30	千葉県虐待防止権利擁護研修 伝達研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県障害者就労振興センター	農産物加工品に関する基礎知識	8.2	1	オンライン
生活サポート千葉	強度行動障害支援者 養成研修	8/19.23	2	会場
千葉県	虐待防止研修オンライン	11/24	2	オンライン
千葉県総合病院国保旭中央病院	高次脳機能障害について知ろう	12/1	1	会場
千葉県障害者就労振興センター	就労会計基礎研修	11/8・1/24	2	オンライン
生活サポート千葉	強度行動障害支援者 実践研修	2/21・22	1	会場

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
		なし			

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 カメリアハウス 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・収入面の安定

コロナ禍が続く中で、感染者が増えると登所を控える方や家族の感染により登所ができない方がいました。

そのため、代替的サービスを算定し、収入の安定に努めました。

年度後半には感染状況が落ち着いてきたこともあり、出席率がかなり上がり収入も上がっていきました。

今後も選ばれる事業所であり続けたいと考えます。

・就労継続支援B型事業

コロナ禍によりパウンドケーキの販売収入は前年度並みでしたが、ポスティング作業が増収となり、平均月額工賃を保つことができました。

・利用者への柔軟な環境設定

ご本人の希望や職員間の検討を重ねたうえで何名かの利用者がグループ変更を行いました。結果、以前より落ち着いて活動が出来ました。

また、年度途中から生活介護事業利用から就労継続支援B型事業利用に移行した方がいました。

○ 研修及び職員の取り組み

・オンラインを活用した研修への参加

・笹川なずな工房への見学研修

・GHへの夜勤支援や入浴等の支援補助を行いました。

○ その他

- ・ 利用者が自主登所をされる際に、近隣や店舗との間にトラブルを起こした事例が数軒ありました。

船橋市西部で住宅街に建つ当事業所は、軽度の利用者が多く、自主登所をする方もいらっしゃるので、課題点など職員一同で検討し、対応に努めます。

- ・ 2月に生活介護のグループ内で新型コロナウイルス感染に罹患し、利用者6名、職員3名の感染者が出てしまいました。保健所からのクラスター認定はされませんでした。グループを一定期間閉鎖し、感染拡大対策に努めました。結果、他のグループに感染者が出てしまうことはなく収束を迎えましたが発生後の利用者に対しての検査方法など、今後の対応に活かしていきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			2				1	3
(常勤換算)			1.1				0.4	1.5
女子常勤			5					5
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.2		1	4.1
計	1	兼務	15	0	1	0	2	19
(常勤換算)	1		12	0	0.2	0	1.4	14.6
4年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤								0
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)	0	0	0	0	0	0	0	0
5年度当初								
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1.1					1.1
女子常勤			5					5
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.3		1	4.2
計	1	兼務	15	0	1	0	1	18
(常勤換算)	1		12	0	0.3	0	1	14.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		28		12		40
4年度当初契約者数		38		15		53
年度内新規契約者数		1		1		2
年度内解約者数		1		1		2
年度末契約者数		38		15		53

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		453		178		631
年間開所日数		250		250		250
年間延利用者数		8208		3182		11390
定員に対する利用率(%)		117%		106%		114%

(3) 利用者年齢区分(令和5年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	16	5	7	8	37
女子		4	1	4	5	14
計	1	20	6	11	13	51
構成比率(%)	2%	39%	12%	22%	25%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	3	4	11	13	4	37	4.1
女子	1	3	3	3	2	2	14	3.6
計	3	6	7	14	15	6	51	4.0
構成比率(%)	6%	12%	14%	27%	29%	12%	100%	

(5)援護市町村区分(令和5年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	33		4		37
女子	11		3		14
計	44	0	7	0	51
構成比率(%)	86%	0%	14%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	25	3	8	1				37
女子利用者	6	2		5	1			14
計	31	5	8	6	1	0	0	51

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	5名	1/28	淑徳大学松浦氏の講演
強度行動障害の方への支援	6名	2/18	のぞみの園宇野氏の講演

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉公安委員会	安全運転管理者講習	8/23	1名	
生活サポート千葉	強度行動障害支援者基礎研修	8/19,31	1名	
権利擁護委員会	権利擁護委員会	10/7	1名	
NPO法人千葉県精神障害者自立支援事業協会	サービス管理責任者更新研修	10/25	1名	
千葉県社会福祉協議会	障害者支援者スキルアップ研修	10/26	1名	
あいおいニッセイ同和損保	メンタルヘルス不調職員への対処法	11/8	1名	
都通研	ごちゃまぜの発想から地域共生社会を考える	1/24	1名	
千葉県知的障害者福祉協会	身体拘束廃止促進・虐待防止研修	1/31	1名	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	4月7日	GHから向かう途中で行方不明になり、駅の改札口で職員に保護された	GHからの通所方法について、本人に促した。	無	
2	6月10日	職員と一緒にランニング中に、足を痛めた。	長時間走っていたため、本人の身体能力低下に合わせて、ランニングの距離を調整した。	無	
3	8月9日	送迎車両内で、利用者が他の利用者者に手を出し、左手を骨折した。	送迎車両内の座席の変更	有	
4	1月20日	通所途中で小学生に声をかけ、トラブルとなった。教頭先生にカメラハウスに連れてこられた。	本人と家族に状況を説明し、車両での送迎を検討した。	無	
5	1月25日	職員と一緒にランニング中に、転倒し手を怪我した。	本人の身体能力低下に合わせて、ランニングコースの配慮を検討	無	

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名 【 DDホームズ 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

当初33名で始まったDDホームズですが、途中ご本人の支援状況やご家族の意向により、2名の利用者様が退所しました。

そのため、今年度も定員割れの状態が続いており、コロナ禍における減収等で、運営的には、大変厳しい状況となっています。

次年度においては、法人内外に情報を共有し、早期な定員確保に努め、増収を目指します。

(1) 支援の在り方

一人ひとりの意思が尊重され「自分らしく生きる」ことや、目の前の障害のあるご本人の思いに寄り添い「その人らしい暮らし」をつくるそんな支援の在り方を実践してきました。

新型コロナ陽性のため生活介護事業所が休園となり、ホームで過ごす利用者支援、陽性となった利用者への介護など、感染予防や衛生管理を行いながら職員一丸となり、乗り切りました。

(2) 防災について

災害時に備え、年2回の避難訓練の実施やホームからの避難経路の確保等マニュアルを作成し、ホームに掲示しています。

購入から5年が経過したため非常食の点検や防災用品の点検を行いました。

○ 研修及び職員の取り組み

コロナ禍において、内外研修を充実させることは難しい状況でしたが、外部講師を招いた虐待防止についての法人内研修は、オンライン研修のため多くの職員が受講出来たことは大変有意義な事でした。

そのほかにも、入職2年目の職員に「知的障害者を理解するための基礎講座」を受講してもらい、障害について再認識し、支援の在り方に応用が出来たのではないかと考えています。

新入職職員については、異業種からの応募が多く、障害の知識がない方もいます。これからも1年目、2年目職員にはこのような講座を活用し、日々の支援に活かしていければと思います。

○ その他

引き続き職員不足が問題となっています。

利用者様のご家族からは「利用日数を増やして欲しい」との要望を受けてはいますが、職員体制が整わず全てのご要望に応じることの出来ない状態が続いております。求人についても、直接応募が減り、紹介会社を通じての応募が主となっています。

ご家族様のご要望に応えることが出来るように、体制を整えるために引き続き、求人をしていきます。

」

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
4年度当初								
男子常勤	1	1	7					7
男子非常勤			5					5
(常勤換算)			4					4
女子常勤								0
女子非常勤			9				2	11
(常勤換算)			4				1.6	5.6
計	1	1	21	0	0	0	2	24
(常勤換算)		1	15	0	0	0	1.6	16.6
4年度中 増減								
男子常勤			-1					-1
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			2					2
女子常勤								0
女子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	2	0	0	0	0	2
5年度当初								
男子常勤	1	1	5					7
男子非常勤			7					7
(常勤換算)			5.7					5.7
女子常勤								0
女子非常勤			9				2	11
(常勤換算)			4.2				1.6	5.8
計	1	1	21	0	0	0	2	25
(常勤換算)		1	14.9	0	0	0	1.6	18.5

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					34	34
4年度当初契約者数					33	33
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					2	2
年度末契約者数					31	31

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					391	391
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9861	9861
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	79%	79%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子		2	2	9	19	32
女子						0
計	0	2	2	9	19	32
構成比率(%)	0%	6%	6%	28%	59%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	4	3	6	11	6	32	4.2
女子							0	0.0
計	2	4	3	6	11	6	32	4.2
構成比率(%)	6%	13%	9%	19%	34%	19%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	31		1		32
女子					0
計	31	0	1	0	32
構成比率(%)	97%	0%	3%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	11	1	9	8	1		2	32
女子利用者								0
計	11	1	9	8	1	0	2	32

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	参加者	実施日	内容
2年目研修	2	6月13日	虐待を起さないためのアンガーマネジメント
法人全体研修	7	1月28日	虐待防止研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	強度行動障害支援者研修(基礎・実践)	8/19・ 10/25, 26 2/21, 22	3	
千葉県	サービス管理者更新研修	9/26	1	
日本防火・防災協会	防火管理者研修(甲種)	12/22	1	
日本知的障害者福祉協会	知的障害者を理解するための基礎講座	11/1~4/30	1	オンライン研修
船橋福祉相談協議会	障害者グループホームはどこに向かうのか	2/3	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	4月7日	日中事業所へ向かう途中で行方不明になり、北習志野駅の改札口で職員に保護された	認知症の検査を経て、のまる入所に10月から異動した	有	

令和 4年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告統一版

事業所名【のまのまホームズ】

1. 令和 4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

健康管理と感染予防対策

・新型コロナウイルス感染症感染拡大の社会状況は、日常のグループホーム運営にも大きな影響を及ぼしました。

「のまのまホームズ」でも、入居者の感染(発熱等の発症)がありましたが、幸いにも重篤な症状に至る方はいませんでした。また、職員が陽性及び濃厚接触等で職員体制が整わないときは、入居者の帰宅期間の変更をお願いすることもありました。

今後も日常のマスク、手指消毒等の予防策は継続していきます。

・3月中旬にホーム内での就寝時にお一人の入居者をご病気でお亡くなりになりました。

勤務体制の見直し

・ここ数年、職員と共に勤務時間や体制の見直しを行っていますが、コロナへの対応により、急なシフト変更を行わざるを得ないことが続く年となっています。今後も夜間時間帯の勤務は入居者の方の状況等を職員から伺いながら、創意工夫をしていきたいと考えます。

○ 研修及び職員の取り組み

より良い支援とより良い職員間のコミュニケーション

・職員全体でのハラスメント研修を行うことができませんでした。

次年度はぜひ実施したいと考えます。

非常災害対策

自然災害を含めた非常災害への取り組みについて、職員全体で行うことができませんでしたので、次年度での課題としたいと考えます。

・ここ数年コロナ感染症感染拡大の影響を受け、外部研修の参加の機会を設けることができませんでした。来年度は少しずつその機会を再開したいと考えています。

・これまで法人内委員会である「サービス向上委員会」に長年同じ職員に担当していただきましたが、次年度は同職員の方以外に、複数の常勤職員の方にも参加していただき、職場内での意識向上に努めたいと考えます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初								
男子常勤	1(兼務)	1	5					7
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			0.7					0.7
女子常勤		1	3					4
女子非常勤			14				1	15
(常勤換算)			7.5				0.9	8.4
計	1(兼務)	2	24	0	0	0	1	24
(常勤換算)		2	16.2	0	0	0	0.9	20.1
4年度中 増減								
男子常勤		1						1
男子非常勤		1						1
(常勤換算)		1						1
女子常勤								0
女子非常勤		-3						-3
(常勤換算)		-1.8						-1.8
計	0	-1	0	0	0	0	0	-1
(常勤換算)	0	0.2	0	0	0	0	0	0.2
5年度当初								
男子常勤	1(兼務)	1	5					7
男子非常勤			3					3
(常勤換算)			1.7					1.7
女子常勤		1	3					4
女子非常勤			9				1	10
(常勤換算)			4.2				0.9	5.1
計	1(兼務)	2	20	0	0	0	1	24
(常勤換算)		2	13.9	0	0	0	0.9	17.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					31	31
4年度当初契約者数					31	31
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					1	1
年度末契約者数					30	30

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					372	372
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9864	9864
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	87%	87%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子		3	2	7	6	18
女子			1	1	10	12
計	0	3	3	8	16	30
構成比率(%)	0%	10%	10%	27%	53%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子			1	6	8	3	18	4.7
女子				3	6	3	12	5.0
計	0	0	1	9	14	6	30	4.8
構成比率(%)	0%	0%	3%	30%	47%	20%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	17		1		18
女子	11		1		12
計	28	0	2	0	30
構成比率(%)	93%	0%	7%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	9	2	2	3	1		1	18
女子利用者	3		4	5				12
計	12	2	6	8	1	0	1	30

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	支援職	R5.1.28	講演をもとに学ぶ

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
県障害者福祉協会	強度行動障害支援者養成研修 基礎	R4年12月2日.13日	1	
県障害者福祉協会	強度行動障害支援者養成研修 実践	R5年2月21日.22日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	R4.9.21	利用者送り出しが間に合わない	管理者へ報告し、ご本人に謝罪		
2	R4.9.26	利用者転倒	管理者へ報告、職員間での再発防止の為情報共有		
3	R4.11.3	利用者所在不明	管理者及び関係各所へ報告と謝罪、再発防止策の実施と職員間の情報共有	有	
4	R4.12.30	利用者のあざを発見	管理者へ報告、職員間での再発防止の為情報共有		
5	R5.3.15	利用者死亡	管理者及び関係各所への連絡・報告と日常業務である健康観察の強化について職員間で共有	有	

令和 4年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 野の花 】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和4年9月1日で8年目を迎えました。令和4年度もコロナ禍での運営となり利用者も我慢を強いての生活でした。支援員や世話人も利用者の心に寄り添い支援して参りましたが、外食や外出も控え、外泊もできない一年でした。しかし、次年度はこれまで我慢してきた分、楽しみややりたい事を増やしていき張りのある生活を整えていきたいと思えます。

令和4年度は《コロナ陽性者ゼロ》で終える事が出来ました。

日々の感染対策から職員個々の行動も各々が罹患しない努力をしてきたことの裏付けだと思えます。

○ 研修及び職員の取り組み

令和4年度大きな研修に参加する事はありませんでした。

代わりにリモート等オンラインの研修に数多く参加しました。

毎月、世話人会議行い、利用者の日々の様子や支援の仕方等、活発な意見交換を行いました。

全国グループホーム学会主催の全国大会のYouTube配信動画を、野の花職員と笹川なずな工房の職員にも視聴してもらいました。

学びの機会を得て我々の支援に活かしていきたいと思えます。

定期的に虐待防止研修を開催し日頃の職員の仕事の点検を兼ねて議論をしました。次年度以降も虐待防止研修を行い、様々な角度から利用者さんについて考える機会としていきます。

令和5年度は対面式の研修にも参加していき、職員個々のスキルアップにつなげていきたいと思えます。

職員の取り組みについて

家庭的な運営ができる事がグループホームの一番の良い点ですが、コロナウィルス感染症がそれを許してはくれません。一緒に買い物に出かけて自分たちの欲しいものを自分で選んでと当たり前の事が出来ませんでした。

ネットを駆使して買い物をしたり、比較的すいている時間に床屋に行き、散髪をしたりと工夫しました。

○ その他

・新体制になり1年が過ぎました。より良い運営を目指して今後とも努力していきたいと思います。運営規定、就業規則を船橋の事業所と揃えました。今後、多種多様な問題が発生しても、統一就業規則を基に対応する事が出来ます。

野の花で働く職員、世話人がやりがいのある職場になるよう今後とも活発な意見交換をして行きたいと思います。ここで暮らす利用者が、主役になるように今後も精進して参ります。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
4年度当初	1	1	4					6
男子常勤	1	1						2
男子非常勤								0
(常勤換算)	0.8	1						1.8
女子常勤			1					1
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	4	0	0	0	0	6
(常勤換算)	0.8	1	2.1	0	0	0	0	3.9
4年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤	1	1	1					3
女子非常勤			4					4
(常勤換算)	0.8	1	2.1					3.9
計	1	1	5	0	0	0	0	7
(常勤換算)	0.8	1	2.1	0	0	0	0	3.9
5年度当初								
男子常勤	1	1						2
男子非常勤								0
(常勤換算)	0.8	1						1.8
女子常勤			1					1
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	4	0	0	0	0	6
(常勤換算)	0.8	1	2.1	0	0	0	0	3.9

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					5	5
3年度当初契約者数					5	5
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					0	0
年度末契約者数					5	5

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					5	5
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					1825	1825
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		1	2		2	5
女子						0
計	0	1	2	0	2	5
構成比率(%)	0%	20%	40%	0%	40%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	1	1	3	0	5	4.4
女子	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
計	0	0	1	1	3	0	5	4.4
構成比率(%)	0%	0%	20%	20%	60%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子		3	1	1	5
女子					0
計	0	3	1	1	5
構成比率(%)	0%	60%	20%	20%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	1		1	2	1			5
女子利用者								0
計	1	0	1	2	1	0	0	5

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	全職員	1/5、14、20	県から全事業所を対象とした虐待防止研修
衛生管理研修	全職員	12月7日	北総育成園にて衛生管理の講習会に参加

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	人材育成研修	R4, 9, 29	2	リモート
香取障害者支援センター	香取圏域GH設置者会議	R5, 3/3	1	リモート
千葉県	第14回千葉県障害者GH大会	R5, 2,1~28	1	リモート
香取障害者支援センター	GH連絡協議会研修会	R4, 1,26	1	リモート
全国GH学会	GH全国大会オンライン	R4, 11,7	5	リモート

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
		今年度事故による通院はありませんでした。			
		令和4年度報告を要する事故はありませんでしたが、世話人が転倒し救急車を要請する事が1度ありました。事故後全体でこの件について話し合いを持ち危険個所の確認等改めて行いました。			

令和 4年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告統一版

事業所名【さざんか相談支援】

1. 令和4年度事業活動重点事項及び成果

【 ランプ 相談 】

○ 運営面に関して

4年度は、新規契約の方が3名、契約解除された方は1名いました。新規契約を増やすのは、現在2名の相談支援専門員ではかなり厳しい状況で、問い合わせをいただいてもお断りせざるを得ない状況が続いています。魔法のランプの単体で見るのではなく、同じ事業を行っている「のまる」や「とらのこキッズ」とも併せて検討していく必要があると思います。

○ 研修及び職員の取り組み

・ 今年度もあまり積極的に研修に参加することが出来ませんでした。次年度は、研修への参加と同時に他の事業所の相談支援専門員等との横のつながりを大切にし、相談支援専門員としての質の向上を目指していきたいと思えます。

○ その他

・ コロナ禍という事で、ご自宅や事業所への訪問をできるだけ控えましたが、感染状況を鑑みながら、少しずつ訪問の回数を増やしていきました。5年度は規制も緩和されますので、相談者や事業所との新たな関係が作れるよう努めます。

・ 感染が広がっている最中は、行動援護や移動支援等の利用を控えた方が多かったのですが、少しずつ再開を希望される方も増えてきました。そのニーズに答えるべく事業所を探しても人手不足等を理由に断られるケースも多くあり、なかなか利用者の方やご家族が望むようなサービスを受けられない状況です。

・ 計画相談の依頼に対し、2名(1名は兼務)職員体制では限界があり、新規の方は殆ど受けられない状況です。これについては、今後法人としてどのように考えていくのか引き続き検討が必要です。

【 のまる相談 】

○ 運営面に関して

取り組み

相談支援利用者人数 24名

サービス利用計画書の作成、モニタリング、関係機関(家族・事業所・行政)との連絡調整

・今年度も引き続き、コロナ禍における感染症予防対策を考慮し、利用者や家族と相談の上、自宅や事業所訪問を控えたケースが多くありましたが、電話や、e-mailを活用し、要望や利用状況の確認などを行いました。

今後の課題

- ・ランプ相談との情報共有や事例検討等を実施していきます。
- ・研修に参加し相談技術の向上に努めます。

○ 研修及び職員の取り組み

・障害福祉制度の理解と介護保険サービスとの連携研修を受講しました。

介護支援専門員との連携と相談支援技術の向上に努めます。

・船橋障害者相談支援事業所連絡協議会と連携し、相談支援をとりまく環境の変化などの情報共有を行いました。

○ その他

・コロナウイルス感染症は様々な支援や相談対応に影響し、人々に不安を与えましたが、感染者数の減少とワクチン接種に伴い、対面での相談を再開しました。少しでも以前のような生活を送れるよう、迅速で丁寧な対応に努めます。

【 とらのこ 相談 】

- ・ 今年度も相談員を増やすことができず、現状の相談支援専門員1名での対応となりました。コロナ禍の中、事業所訪問でのモニタリングやお子さんの様子伺いをしづらい状況で、モニタリングの機会も年度末の1回のみとなっています。
- ・ 児童期の相談支援においては、成人期の相談支援事業とニーズが異なることが多いので、今後も児童相談については専任が望ましいかと思えます。相談員の養成が早急の課題と思われれます。